

# 「年齢調べ」機能について

- 年齢調べコマンドは、日付形式のデータを基準日からの経過期間に応じて分類して、**年齢調べ表**を作成することができます。また、**グラフ**を出力することも可能です。

① 「ActiveData分析コマンド」グループ内の「年齢調べ」をクリックします。

	A	B	C	D	E	F	G
1	請求番号	請求日	支払日	顧客番号	営業担当者番	製品番号	数量
8	20006	2010/1/1	2010/2/5	10653	19		58
9	20007	2010/1/1	2010/2/27	10413	12		61
10	20008	2010/1/1	2010/1/23	10654	12		4
11	20009	2010/1/1	2010/1/26	10300	1		10
12	20010	2010/1/1	2010/2/21	10439	19		38
13	20010	2010/1/2	2010/2/6	10439	99		38

② 「年齢調べ」ダイアログボックスが開きます。

分析対象列(日付)  
 請求日 範囲: 2010/01/01 (3687 日前) - 2010/12/30 (3324 日前)

基準日 2010年12月30日 期間(日) 30 60 90 120 150 180

集計列

オプション  
 グループごとの年齢調べ(B)  
 グラフ出力(A)  年齢調べの詳細をもとのシートに追加(O)

OK(O) キャンセル(C) リセット(R) 設定(G) ヘルプ(H)

## 「年齢調べ」ダイアログボックス 機能説明

The screenshot shows the '年齢調べ' (Age Investigation) dialog box with the following fields and callouts:

- 分析対象列(日付)**: A dropdown menu showing '請求日'. A callout box says: **日付形式の列を選択してください。**
- 範囲**: 2010/01/01 (3687 日前) - 2010/12/30 (3324 日前). A callout box says: **年齢調べの集計単位となる日数間隔を入力してください。最大6間隔まで入力できます。**
- 基準日**: A date field showing '2010年12月30日'. A callout box says: **基準日を入力します。**
- 期間(日)**: Radio buttons for 30, 60, 90, 120, 150, and 180. A callout box says: **年齢調べの集計単位となる日数間隔を入力してください。最大6間隔まで入力できます。**
- 集計列**: A dropdown menu. A callout box says: **集計対象とする列を選択してください。**
- オプション**:
  - グループごとの年齢調べ(B)
  - グラフ出力(A). A callout box says: **年齢調べ結果の棒グラフが作成できます。**
  - 年齢調べの詳細をもとのシートに追加(O)
- Buttons**: OK(O), キャンセル(C), リセット(R), 設定(G), ヘルプ(H).

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	間隔	# 件数	% 合計								
2	<= 0	13	0.26								
3	<= 30	411	8.22								
4	<= 60	411	8.22								
5	<= 90	411	8.22								
6	<= 180	1,233	24.66								
7	<= 360	2,479	49.59								
8	<= 720	41	0.82								
9	720+	0	0.00								
10	エラー空白	0	0.00								
11	合計	4,999	100.00								
12											

